

# ■ 開会式·任命式

●日 時: 2022年6月18日(土)10:15~10:55

# 【オープニング映像】

県政150周年映像上映





# 【主催者挨拶】(概要)

•農林水産省 消費•安全局 局長 小川 良介(金子農林水産大臣 代読)

まず、本題に入ります前に、愛知県豊田市の明治用水頭首工における漏水事故につきまして、関係者の皆様に、ご迷惑・ご心配をおかけしております。一日も早い復旧に向け、農業用水・工業用水をご活用されている皆様方の不安に寄り添い、真摯に対応してまいります。

さて、本日、第17回食育推進全国大会が、「"SHIN化"する『いきいき食育』あいちから」をテーマとして、盛大に開催されるにあたり、農林水産省を代表して、挨拶を申し上げます。大村知事、国会議員の皆様、愛知県議会の皆様、市長、町長の皆様を始め、本日ご臨席いただいてる皆様におかれましては、日頃より食育の推進にご尽力いただき、厚く御礼を申し上げます。また、実行委員会の皆様を始め、この会の開催に多大なるご尽力をいただいた方々に対し、感謝申し上げます。

食育につきましては、政府が令和3年3月に決定した、第4次食育推進基本計画に基づき、生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進、持続可能な食を支える食育の推進、そして新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進を重点事項とし、SDGsの観点を踏まえつつ、総合的に食育を推進してるところです。食育の推進には、私たちの食生活が自然の恩恵の上に成り立つことを認識し、私たちの活動による環境負荷が自然の回復力の範囲内に収まり、食と環境が調和し、持続可能なものとなる必要があります。みどりの食料システム法においても、環境負荷の低減を図る一つの手段として、食育を推進することが明記されておりますので、今後一層食育を推進してまいりたいと考えております。

今大会は、持続可能な食と農に関するシンポジウムなど、多数のイベントが開催されます。ご参加いただく皆様には、食の重要性について、楽しみながら学びを深めていただき、その様子を全国に発信してまいりたいと考えています。

また、食育活動表彰の受賞者の皆様には、心からお祝い申 し上げます。今後も取り組みを継続していただき、各地域にお ける食育の輪を広げていただくことを、大いに期待します。

最後に、この食育推進全国大会が関係者の皆様の貴重な学びの場となり、全国各地で食育の取り組みがますます進むことを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



# 【主催者挨拶】(概要)

#### •愛知県知事/実行委員会会長 大村 秀章

本日は第17回食育推進全国大会inあいちを、こうして多くの皆さんにご参加いただきまして開催できますことに、心から御礼を申し上げます。

今日、明日2日間、大いに盛り上げていければと思っておりますので、よろしくお願いします。

また、小川局長からもお話がありましたが、明治用水の頭首工の漏水事故については、ただちに中部地区からポンプ車を162台かき集めて、通水も、農地も、工業用水も再開しております。現在、仮設の工事をやっていますので、近いうちに100%の水を供給できると思っております。今しばらくお待ちをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、この大会は、今からちょうど2年前、第15回の食育推進全国大会を、この愛知で、この場所でやるということで、全部準備をしてまいりましたが、コロナウイルス感染症第1波によって、残念ながら苦渋の決断で中止となった経緯があります。でも、やるところまで全部準備してきましたので、何としてもやるということで、もう一回この愛知で引き受けて、満を持してのリベンジ開催ということでございますので、ぜひ多くの皆さんの想いが詰まったこの大会を、多くの皆さんに楽しんでいただき、そして実際に食育を体験していただきますようにお願いを申し上げます。

また、愛知県は中部地区最大の農業県でもございます。その 愛知の多種多様な農産物、水産物、食品などを楽しんでいただ きたいと思います。

そして最後に、この後、食育活動の表彰を受けられる皆様方 にも、心からお祝いを申し上げます。

今後とも愛知の、そしてまた全国の関係の皆様の手によって、この食育活動がさらに推進をされ、そして日本の豊かな食、農林水産物が元気になるように、心からご祈念、ご期待を申し上げまして、今日開催できますことの御礼のご挨拶といたします。



## 【来賓祝辞】(概要)

## •参議院議長 山東 昭子 氏

2年越しのこの盛大な大会、参加することができまして、そして皆さん方にお会いできて、本当に嬉しく思っております。 コロナウイルスという魔物によって、食育の根底である会社の同僚や友人たちとの楽しい食事などの共食の機会を失い、 また対面での農業体験であるとか料理教室も全くできませんでした。とても悔しい思いをした方がたくさんいると思います。そのような中でもオンラインを通じて、家の中での食事の在り方というものを改めて見つめ直し、食育の重要性を再認識できたことが、今日の大会に繋がったと思っています。

また、栄えある受賞者の皆さん方、本当におめでとうございます。皆様方の日頃の活動が多くの人たちに笑顔と力を与え

ています。これからも地域社会の中で、またあらゆる場面で活動してくださることを、心から期待いたしております。

今の日本は、円安やウクライナ情勢によって、食料であるとか、食材の流れというものを、考えていかなければならない時期に差し掛かっていると思います。第4次食育推進基本計画においても、持続可能な食というものがポイントになっています。私たちの食生活は、作る、運ぶ、売る、そうした多くの人たちによって支えられています。この大会が、そうした方たちに何か力を与え、そして感謝をする気持ちになることを育む会になることを、心からお祈りをいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきたいと存じます。







#### •衆議院議員 土屋 品子 氏

第17回の食育推進の全国大会が、この愛知で開かれますこと、そしてこんなにも朝早くから盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、このたび受賞された皆様には、食育の推進に、先頭に立って頑張ってこられたことに敬意を表するとともに、誠におめでとうございます。これからもよろしくお願いしたいと思います。

食育基本法がつくられて17年がたって、食育推進基本計画は今4期ですけども、この計画が毎回、5年ごとに見直されるときに、確実に国民の間に、食育というのは何だろうか、食育で何をしていったらいいだろうかということが根を張ってきたと思います。それは全国の多くの食育を推進する皆様の大きな力があったからだと確信しています。

今、食育をめぐる環境は大変厳しい状況が続いていると思います。コロナやウクライナ戦争などが起こる中で、食に関して、あらためて国民がこれでいいのかという思いを持ったのではないでしょうか。

これから、環境と食という中で一番大事なのは、フードロスの問題だと思います。フードロスを2030年までに半減する

のが目標です。そのためには国民の意識を変えていかなければならない。その中で食育の関係者の皆様の役割は大変大きいと思います。皆様と共に、食べられるけれど捨てられているものを減らすために、一緒に頑張っていきたいと思います。

最後に、この食育推進全国大会を開催していただきました愛知県、そして愛知県の中の自治体の皆様、職員の皆様、そして農林水産省の多くの皆様には、多大なご貢献いただきましたことを、感謝を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。皆様、食育で頑張ってまいりましょう。



#### •衆議院議員 伊藤 忠彦 氏

本日、第17回食育推進全国大会inあいち、「"SHIN化"する『いきいき食育』あいちから」と称して、素晴らしい大会が開催をされました。ご準備をいただいた愛知県を始め、地域の農協、漁協、さらにはさまざまな企業の関係の皆様方のご尽力に、まず高い壇上からではございますが、心から感謝を申し上げたいと存じます。ありがとうございます。

さて皆様、やっぱり愛知県の一番優れて大切なのは、私たちの国日本を、ぐいぐいと引っ張れる産業、経済だと思っております。この経済を進めていこうとしている人たちの一番大事なことは何でしょうか。他でもない、食じゃないですか。食べずに仕事はできない。我々の根幹を支えて、そしてまっすぐに進んでいくために、この食育ということがいかに大事であるか

ということを、改めて今日、この会場でしっかりと覚えていただき、食育は大事だ、食べることは大事だ、美味しいものを食べて、我々はこれからまた元気な一日一日を送っていこう、それを覚えてお帰りをいただくことが一番ありがたいことだなというふうに思っております。

最後に紹介させてもらいますが、ステージの後ろあたりで、地元知多の農協女性部のみなさまが、ふるまいコーナーで手作りで腕を振るっています。ぜひ食べてください。

本日表彰を受けられました全国の皆様方も一緒になって、日本中が食で、また活力を持つことができますことを願って、一言ご挨拶に代えさせていただきます。



# 【チコちゃん任命式】

第17回食育推進全国大会では、食育を広く知っていただくために、第17回大会アンバサダーとしてNHK「チコちゃんに叱られる!」でMCを務める「チコちゃん」を起用した。

開会式に引き続き、第17回大会アンバサダーに「チコちゃん」を任命するため、大村秀章愛知県知事より任命状の授与を行った。

任命式では、チコちゃんから「なぜ手羽先が愛知の名物になったの?」という質問があり、知事が答えられず「ボーっと生きてんじゃねーよ!」とチコちゃんの有名なセリフで"叱られた"場面もあった。

手羽先が愛知の名物になったのは、昭和40年代前半に、もともとタレをつけて売っていた若鶏の仕入れが間に合わず、 余っていた手羽先にタレをつけたところ大ヒットしたからとのこと。意外な答えに知事や客席も盛り上がっていた。





# 【来賓紹介】



#### 前列左から

- •衆議院議員 伊藤 忠彦 氏
- •衆議院議員 工藤 彰三 氏
- •衆議院議員 神田 憲次 氏

#### 後列左から

- •愛知県議会副議長 佐藤 一志 氏
- •食育推進評価専門委員会 座長 服部 幸應 氏
- •第6回食育活動表彰 審査委員長 中嶋 康博 氏

# 【祝電】



# 衆議院議員

- •青山 周平 様
- 今枝 宗一郎 様
- •神田 憲次 様
- •熊田 裕通 様
- •近藤 昭一 様
- 近膝 哈一 塚
- ·鈴木 淳司 様 ·丹羽 秀樹 様
- •根本 幸典 様

#### 参議院議員

- •伊藤 孝恵 様
- •大塚 耕平 様
- •斎藤 嘉隆 様
- •酒井 庸行 様
- •田島 麻衣子 様

(衆・参、五十音順)



# 第17回 食育推進全国大会 in あいち

# ivhtesty v

# メインステージ

# ■第6回食育活動表彰 表彰式

● 日 時: 2022年6月18日(十)10:55~11:15

農林水産省はボランティア活動、教育活動又は農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じた食育の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として「食育活動表彰」を実施している。

今年度は、応募のあった個人・団体のうち、特に優れていた5組に農林水産大臣賞、14組に消費・安全局長賞を授与した。



# 受賞団体・受賞者 (敬称略)

#### ○ 農林水産大臣賞

- 十島村食生活改善推進員連絡協議会
- 長田 勇久
- NPO エコラボ
- ・ファーム・インさぎ山(有限会社諏訪野)
- ・キユーピー株式会社

#### ○ 消費•安全局長賞

- 大阪市東住吉区食生活改善推進員協議会
- 吉賀町食生活改善推進協議会
- 愛媛県農山漁村生活研究協議会
- シニア世代のサバイバル男料理の会
- ・島根県立大学 地球食堂サークル
- ・下関市立しものせき水族館「海響館」
- (公益財団法人 下関海洋科学アカデミー)
- 公益財団法人 岡崎市学校給食協会
- 東洋大学附属姫路高等学校 地域活性部 PROJECT TOYO
- 愛南町ぎょしょく普及推進協議会
- 株式会社須藤牧場
- ・農業生産法人 株式会社オルタナティブファーム宮古
- 株式会社ニチレイフーズ
- カゴメ株式会社
- 株式会社クラダシ

# 【審査委員長講評】(概要)

第6回食育活動表彰審查委員長 中嶋 康博(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

第6回食育活動表彰では全国都道府県等から推薦されました192件を対象に審査を行い、その中から優れた19の個人及び団体の食育活動を表彰することになりました。

今回の表彰では新しい時代に向けて食育が動き始めていくということを確信できたことが大変大きな収穫でございました。審査委員会では審査基準に基づき、先進性、継続性、有効性、波及性、実践性の5つの観点から評価をいたしました。対象活動が第4次食育推進基本計画の3つの重点事項の効果的な解決に資するものであるか、地域における食の循環、全体の中における自らの活動の目的や目標を明確にし、企画・実施・評価に関して、地域との連携を踏まえて活動を進めていらっしゃるかどうか、こういった視点からも、審査委員の間で熟慮を重ねて検討を行いました。今回受賞された皆様は、コロナ禍にあっても、またコロナ禍だからこそ、地域の食育活動を守り、前向きに行こうとする素晴らしい取組を進められました。私たちは新型コロナウイルス感染症から身を守るために抑制的な活動を取らざるをえず、そのために残念ながら共食が出来なくなりました。このことは私たちの生活を豊かにし、社会の繋がりを築いてきた食の役割を喪失させることになります。ただ皆様の食育活動は、食の役割を維持し、もしくは復活させるための挑戦であり、苦難な時期においても食育活動が持続可能であるということを証明されたのだと思っております。

受賞された取り組みを見ますと、ボランティア部門においては、地元の食を見出し、食の循環を強化する地域の特色に合わせた丁寧に作り込まれたプログラムを実践されていらっしゃいました。教育関係者・事業者部門では、環境や地域資源を強く意識し、SDGS達成への貢献が期待される食育が展開されていました。オンライン通信やデジタル技術を駆使した取組が多いこともこの分野の特徴でございます。なお今回の受賞に至らず、惜しくも選から漏れた候補の中には、もう少し実践を重ねていれば、今後大きく発展することが期待できる興味深い取組があったこともご報告したいと思います。最後にこの表彰をきっかけにいたしまして、食育の意義が国民や社会の間でより深く理解され、食育が益々推進されることを祈願致しまして、わたくしからの講評とさせていただきます。受賞者の皆様本日はおめでとうございました。



# ■ 学生&"いいともあいち"コラボ♪「学生レシピコンテスト」

●日 時: 2022年6月18日(土)①12:15~13:00 ②15:00~15:45 2022年6月19日(日)①10:45~11:30 ②13:15~14:00

#### 【イベント概要】

愛知県内の「栄養士等」・「調理師」を目指す学生・生徒によるチームが「いいともあいちネットワーク会員(企業・団体等)」とコラボして"SHIN化"をテーマとしたメニューを考案するコンテスト。募集期限の2021年12月末までに125チームから応募があり、一次審査を通過した8チームが、大会当日の二次審査に出場。二次審査では、2チームずつ会場施設内厨房棟での調理実演及びメインステージでのプレゼンテーションを実施。調理実演の様子はステージへライブ中継し、審査員による実食審査も行われた。

# 6月18日⊕

実演1) 12:15~13:00

# Aチーム

# [Sun soy source]

愛知県立岩津高等学校 + 株式会社ヤマミ醸造

# Bチーム

「ハッピー中部」 中部大学 + 株式会社まるや八丁味噌

実演2) 15:00~15:45

# Cチーム

# 「NSCたまご娘」

名古屋栄養専門学校 + 磯田園製茶株式会社

# Dチーム

# 「だいずのチカラ」

名古屋調理師専門学校 + 株式会社おとうふ工房いしかわ

# 6月19日(3)

実演3) 10:45~11:30

## Eチーム

# 「みりんの魅力伝え隊」

愛知学院大学 + 九重味淋株式会社

#### Fチーム

# 「すぎきしめん」

椙山女学園大学 + 株式会社秋田製麺所

# 実演4) 13:15~14:00

# Gチーム

# 「ぎょうざ三姉妹」

名古屋学芸大学 + 株式会社隆祥房

# Hチーム

# [bianco e giallo]

ニチエイ調理専門学校 + 尾張志水家商会





6/18(土)

■ 12:15~13:00

Aチーム「Sun soy source」× Bチーム「ハッピー中部」









● 15:00~15:45 Cチーム「NSCたまご娘」× Dチーム「だいずのチカラ」









# 6/19(日)

**1**0:45~11:30

Eチーム「みりんの魅力伝え隊」× Fチーム「すぎきしめん」









● 13:15~14:00 Gチーム「ぎょうざ三姉妹」× Hチーム「bianco e giallo」













# 〉 学生&"いいともあいち"コラボ♪「学生レシピコンテスト」表彰式 🔀

# 最優秀賞



Hチーム[bianco e giallo] 出張 親子丼 ~in イタリア~ ニチエイ調理専門学校 + 尾張志水家商会

#### 優秀賞



Cチーム 「NSCたまご娘 | 健康になっ茶おう! 和風パンシチュー 名古屋栄養専門学校 + 磯田園製茶株式会社



Gチーム「ぎょうざ三姉妹」 愛知がぎゅっと! ギョーザ de カレーパン 名古屋学芸大学 + 株式会社隆祥房

#### 入賞

Aチーム「Sun soy source」 和風醤油白パスタ | 愛知県立岩津高等学校 + 株式会社ヤマミ醸造 | 中部大学 + 株式会社まるや八丁味噌

|Bチーム「ハッピー中部」 野菜もりもり 味噌クリームドリア

| Dチーム「だいずのチカラ」 サクッと麻婆豆腐

| | 名古屋調理師専門学校 + 株式会社おとうふ工房いしかわ | 愛知学院大学 + 九重味淋株式会社

| Eチーム「みりんの魅力伝え隊」 親子で、里芋・スコップコロッケ

Fチーム「すぎきしめん」

八丁味噌使用! 韓国風混ぜきしめん

椙山女学園大学 + 株式会社秋田製麺所









# ■絵画コンクール表彰式

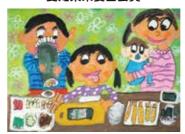
●日 時: 2022年6月18日(土)13:45~14:05

#### 【イベント概要】

大会関連企画として「あいち"いきいき食育"絵画コンクー ル」を開催。2021年12月1日(水)から2022年2月28日(月) まで募集し、応募総数は672点にのぼり、厳正なる審査の 結果、合計30点の入賞作品を決定しました。

# 金賞

愛知県栄養士会賞



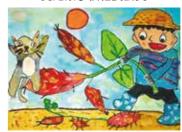
いっしょにのりまきをたべよう 1年 吉田 彩那(半田市立宮池小)

東海農政局長賞



感しゃの気持ちをわすれずに「いただきます」 4年 岩田 羽子(名古屋市立名城小)

愛知県学校給食会賞



大きなおいもがほれたよ 2年 大竹 司紗(江南市立門弟山小)

# 愛知県知事賞



ボンボン びよーん 5年 太田 いつき(犬山市立犬山西小)

#### 第17回食育推進全国大会 愛知県実行委員会長賞



楽しいおいしい潮干がり 3年 黒田 侑里(刈谷市立日高小)

#### 愛知県教育委員会賞



伝えたい。たくさんの「ありがとう」。 6年 中室 綴(名古屋市立東志賀小)



いちご狩り 1年 中澤 咲希(名古屋市立原小)



我が家のデザート 4年 加藤 三愛(岡崎市立福岡小)



たくさん食べたらこんなに元気 2年 土屋 楓佳(岡崎市立根石小)



初めての調理実習 5年 横手 瑛鈴(稲沢市立大里東小)



大好きなさつまいも 3年 前田 諒介(半田市立花園小)



家族で食事の準備 6年 中島 彦志(稲沢市立大里東小)

21



#### 銅賞



みんなでおいしいパスタいっただっきまーす!! 1年 杉井 希子(名古屋市立北一社小)



いっしきの魚市場に行ったよ 2年 増永 奨(岡崎市立小豆坂小)



なんでも食べるじょうぶな体3年 林 真歩(豊田市立伊保小)



おいしいはちゃめちゃクリスマスパーティー 4年 太田 侑那(稲沢市立稲沢東小)



待ちに待ったお正月 5年 早瀬 みのり(春日井市立玉川小)



黙食だからこそ味を楽しもう! 6年 岩堀 佑星(稲沢市立稲沢東小)

#### 入賞

#### 12点(各学年2点受賞)

大好きなパフェを食べにいったよ 1年 松永 彩里(名古屋市立大森北小)

おいしいクッキーめしあがれ!! 1年 西村 美知佳(岡崎市立岡崎小)

おせんべい ちょうだい ちょうだい 2年 西川 幸希(高浜市立高取小)

大もりミニセット 2年 清水 帆那(豊橋市立牛川小)

# 誕生日の夢

3年 石川 千紗(国立愛知教育大学附属名古屋小)

お母さんからのバトン 3年 近藤 叶梛(豊橋市立松葉小)

あこがれのたんじょうび会 4年 村田 芽彩(知多市立旭南小)

冬に食べるおいしいおでん 4年 服部 心美(東海市立船島小) たのしくドーナツを食べる女の子 5年 トムソン 里紗(大治町立大治南小)

弟と一緒に食べたおもち 5年 矢田 唯真(刈谷市立小高原小) わが家の春巻き 6年 持丸 花音(常滑市立常滑東小)

2人で食べるケーキの味 6年 小島 胡桃(一宮市立葉栗小)





